

道徳科学習指導案

令和4年9月16日（金） 第5校時 児童数30名

第6学年3組 指導者 増渕 育恵

1 主題名 法やきまり、権利と義務 内容項目C－（12） 規則の尊重

2 教材名 星野君の二るい打

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について

本主題は、学習指導要領第5学年及び第6学年の内容項目C－（12）規則の尊重「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと」をねらいとしている。高学年の段階においては、社会生活上のきまり、基本的なマナーや礼儀作法、モラルなどの倫理観を育成することが必要となってくる。そして、社会生活を送る上で必要であるきまりや法律などを進んで守ろうとする遵法の高めることも求められる。

指導に当たっては、生活上のきまりを守ることの大切さや、きまりを守ることが自分たちの生活を暮らしやすい状態に保つための条件であることに気付かせ、他人の権利を理解尊重し、自分の権利を正しく主張するとともに、義務を遂行しないで権利ばかりを主張していたのでは社会を維持できないことについても考えを深め、自分に課された義務についてはしっかりと果たそうとする態度を育成することが重要である。また、身近な集団生活を送る上においても、みんなで互いの権利を尊重し合い、自らの義務を進んで果たすことが大切であるという理解と積極的な行動ができるようにする必要がある。

（2）児童の実態

本学級の児童は、明るく素直な児童が多く、遊び係の児童を中心にクラスみんなで遊ぶ姿が見られる。しかし、遊びの内容やグループ決め、遊んでいる際のルールなどで揉め事になってしまうことがある。その原因として、自分の思いが先に立ってしまい、自分に都合の良い考えを主張し、通らないと不服としてしまうこと、ルールを守ることの大切さやその価値について気付いていないことが挙げられる。また、ルールを守ることが、自分自身の安心で豊かな生活の基盤となることへの理解が深まっていないと考えられる。

そこで、事前アンケート「6年3組をもっとよくするためにできることは何でしょう。」を行ったところ、ワードクラウド機能で「気持ち・人・相手・友達・合う・個性・意見・喧嘩・思いやり・我慢・言葉・行動」などの言葉が挙がった。個性を大切にし、友達を思って行動している児童がいる一方で、喧嘩や我慢をしている児童も存在しているということが分かった。

本教材を通して、ルールを守ることの大切さや価値、よさについて考えさせたい。そして、より豊かな生活を作っていくためには、自分の思いのままに行動するだけでなく、周りのために自分が何をすればよいのか、そして何ができるのか、考えさせる力を高めていきたい。

(3) 教材について

本教材は、主人公の星野君が野球の試合において監督の「バント」の指示を守らず、自分の判断でバットを振り、二塁打を打つ。しかし、試合の翌日、監督は、チームのルールを破った星野君の行動についてチームメイトに問うとともに、厳しい判断を伝えるという内容である。星野君や監督、チームメイトの意見について、児童が自分との関わりで考え、議論することを通して、きまりのもつ意義やそれを守ることについて考えを深めさせたい。また、野球のルールをよく知らない児童にとっては、監督の指示内容や星野君の判断についてよく理解できない可能性がある。バントの目的や二塁打とは何かを確認しておくことによって、監督の指示内容や星野君の判断を理解できるようにさせておきたい。

4 研究主題との関連

本校の研究主題「自己を見つめ、豊かな心でよりよく生きる児童の育成～多面的・多角的に考え、深める道徳科の授業を通して～」に迫るために、以下の手立てを考えた。

課題意識をもち、それを生かして道徳的価値を追求できるような導入の工夫

・事前アンケートを活用することで、よりよい集団生活を送るために何が大切かを把握するとともに、その結果を導入で提示することにより、課題意識をもてるようにする。

多様な感じ方や考え方に触れ、思考を深めるための学習形態の工夫

・トリオ学習を取り入れ、誰もが自分の考えを伝えたり、発問に対してグループ内で意見交流をしたりすることにより、主体的で多様な意見の交流を行うことができるようにする。

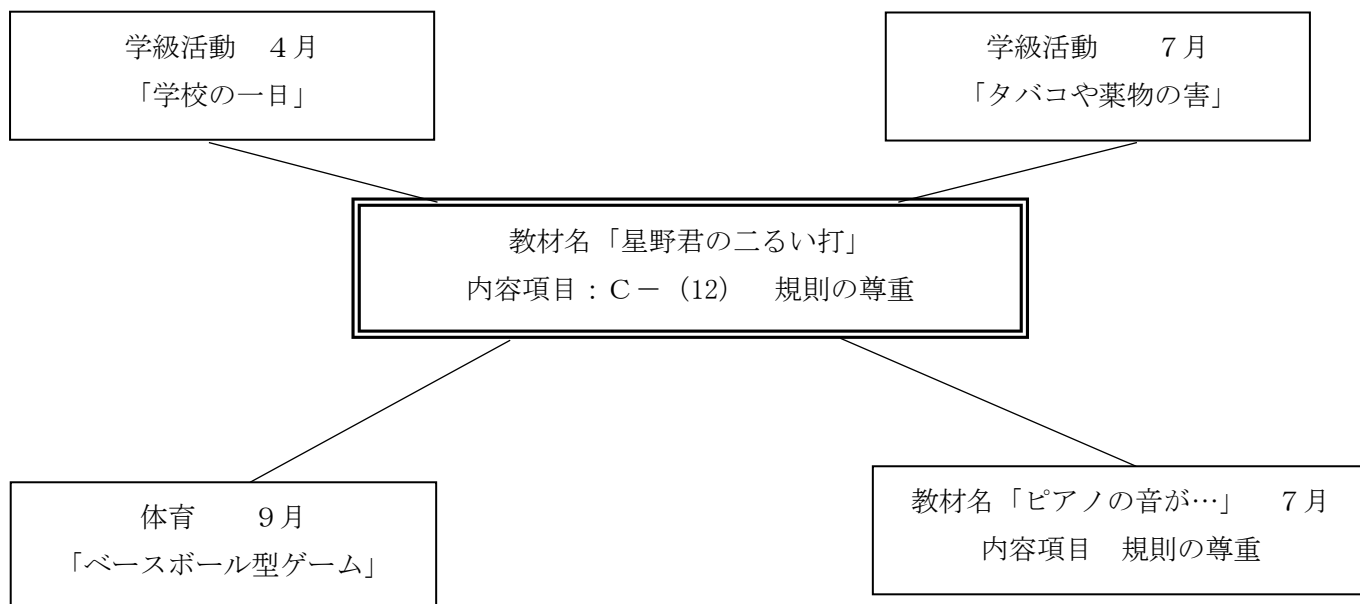
自分の考えを表現するための活動の工夫

・ジャムボードやスクールタクトを活用することにより、児童一人一人の考えを的確に表現する機会を確保するとともに、友達の考えを取り入れながら考えを深めていけるようにする。

児童の思考を深めるための板書の工夫

・黒板を横書きの3分割にすることにより、「教材の発問」「主発問」「振り返り」と問題解決に向かっていく過程を可視化できるようにする。

5 他領域との関連



6 本時の指導

(1) ねらい 規則やきまりの意義を理解し，規則やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。

(2) 授業の観点

- 当事者意識をもたせるために，登場人物の行動に賛成か反対かを考える際に，自分がチームの一員だとしたらと想定したことは有効だったか。
- 主体的で多様な意見の交流を行うために，トリオ学習を行ったことは有効だったか。

	(3) 監督が一番伝えたかったことを考え、話し合う。	ら。 ・ヒットを打てていなかったら…。 ・自分勝手な行動だから。 ・監督に叱られるから。 「次の試合では星野君をひかえにする」といった監督が伝えたかったことは何でしょうか。 ・ただ勝つだけでなく、みんなで作ったルールを守ってこそ。 ・チームのルールを破るとするのは、信頼を崩してしまうということ。 ・チームワークを大切にしたい。 ・ルールを守らないといけなことを伝えたい。	・スクールタクトを活用し、まずは各自が考えたことを書きこませるが、友達のワークシートが見られるスクールタクトの特性を生かし、友達の考えを参考にしながら自分の考えを深められるように声掛けをする。 ◎異なる意見も尊重し、互いに認め合えるようにする。 ☆多様な考えに触れさせるよう3人で互いの意見を交流させる。 ※友達の考えをよく聞き、自分が気付かなかったことに目を向けさせたり、自分の考えと比較させたりする。 ・出された意見をもとに、ルールを守ることのよさについて板書にまとめる。 ◇ルールを守ることによって、みんなが幸せに生活できることに気付いている。(スクールタクト・発言)	ワークシート (スクールタクト)
	3 ルールを守ることについて考え、話し合う。	ルールを守るとは何だろう。 ・チームワークを作るため。 ・気持ち良く生活するため。 ・楽しく生活するため。 ・みんなが笑顔で暮らすため。 ・自分や周りが幸せになるため。 ・互いに信頼し、みんなで力を合わせて生活するため。		
終末	4 自己の生き方について考える。	今日の授業を振り返り、「よりよい集団生活を送るために大切なこと」について考えたことを書きましょう。 ・ルールを守るとは大切なこと。 ・ルールを破ると、結局は損をしてしまうので、守ることが必要。 ・みんなで決めたルールを守ることによって、気持ち良く生活でき、周りの人とも仲良くす	◇振り返り、自分の生き方について考えている。(スクールタクト、発言) ・スクールタクトのクラウド機能を使い、児童から多く出てきた言葉について、全体で考えさせる。	ワークシート (スクールタクト)

		ることができる。 ・ルールは自分とみんなを守るためのもの。 ・チームワークを一つにするのがルール。 ルールを守ってこそそのチームワーク。		
--	--	---	--	--

7 当日のワークシート

【中心発問】

『次の試合では星野君をひかえにする』と言った監督が伝えたかったことは何でしょうか。」

チームのルールを破ってはいけ
ない。裏切ることがど
んなにだめなことかベンチ
にして伝えたかった。

みんなのために二塁打を打ったという気持ちはわかるが、みんなで決めたのに決めた本人が急に意見を変えるのはおかしいし、ルールを破ってチームの輪を乱すのは良くない。
野球は、一人ではできないし、みんながみんなNOと言い出したらその部が崩壊するし、今回の目的は、あくまで勝つことだから挑戦することではない。

- ・みんなで協力して頑張るのをルール破ってまで点を稼がなくていいということ。
- ・負けともみんなでもた頑張っていけばいい。
- ・チームを裏切ってまで勝利するのはおかしい。

チームワークを乱すことが、
どれだけチームにとって
だめなことか、野球をする
ときは今だけじゃない。

点数よりも、チームワーク 協力が大切だし、協力しあってとった、点数のほうがすごく嬉しいと思うし、
チームのみんなやかんとくを裏切って取った点数は、勝ったけれど、あまりいい気持ちではない。
やっぱりルールをまもることは、大切だよ。

- ・チームの皆で決めたルールは守って欲しい。
- ・ルールは大切なことで星野くん活躍してほしいけどルールは大切。

- ・勝利したのは良かったけど、チームで決めたルールを裏切るのは良くない。
- ・みんなで決めたルールは守らないといけない。
- ・試合に勝てばいいわけじゃない

チームワークが大切。
・チームのルールを破ってまで試合に出すことはできない。

- ・チームワークの大切さ
- ・ルールがどれだけ大切か、
- ・野球は、一人で頑張っても試合には勝てない
- ・みんなで、頑張ったから勝てる
- ・野球は、個人戦ではない
- ・そんなに自分だけで解決しないで！！

自分（星野）がやったこと
＝ルールを破ったこと。
次はやるなよ。みたいな忠告をしたのではないか。
監督は星野くんがルールを破ったことに対して、チームみんなを騙したことについて、反省させてわからせようとした。
チームのルールを守る大切さ。

【振り返り】

「今日の授業を振り返り、『よりよい集団生活を送るために大切なこと』について考えたことを書こう。」

- ・周りの人の気持ちを考える。
- ・全て自分ばかり優先ではいけない。

ルールを作ることによって、自分もみんなも、お互い気持ちよくなるし、ルールを破ったことに対して、改善すべきところや、これからの事を考えられるチャンスもあるので、ルールはとても良いと思いました。

ルールを守った上で自分ができること
と探すこと。

ルールをやぶってもその時は良くても結局は悪い方に行くからルールを守るのがとても大切だということ。

この学習を振り返って。
ルールを守ることは、皆が幸せになること。
。ルールがあることで、楽しく集団生活を送ることができて、団結することができる。
ルールを守ることで、自分の将来にも繋が
る。

・ルールを守るということは、自分が気持ちよく生活したり、周りの人と仲良くするということなんじゃないかなと思いました。

この学習を通して、ルールを守ることの大切さや、1人1人の行動がいかにみんなを変えるかがよく分かりました。自分も今まで以上にルールについて見直し、しっかり守っていこうと思いました。

- ・この学習でチームワークの大切さを知りました。みんなで助け合えば失敗しても励まし合えるし、成功したら一緒に喜ぶ事ができます。そのチームワークを一つにするのがルールで、ルールはみんなで守ってこそなのだと思います。
- ・ルールは、一人が守らないようになるとみんなも守らなくなって、チーム全体の心がバラバラになってしまうので一人一人がルールを守ることが大事ということが学習できました。
- ・野球でもそうだけど、ルールを守ることがチームやクラスが一つになれると思います。